

唇唇

都御修法三七日つかうまつり給ふれど、おこたらせたまはねば、ならへざるべき人々、二だんみだんつがまつり給に、さばかりくるしげにおはしますに、ちからをつくし、かち參るに、さらに、御あくびをだにせさせ給はず、

〔禮記内二則〕在父母舅姑之所略○中 升降出入揖遊不敢噦噫嚏咳欠伸跛倚睇視不敢唾洩、

〔倭名類聚抄鼻三〕唇吻 說文云、唇吻、上音旬、久知、久知、比留、下音粉、久知、佐岐、良、

〔箋注倭名類聚抄鼻二〕此有脫文、按原書肉部云、唇口端也、口部云、吻口邊也、昌平本作說文云、上音

辰、久知比留蒼頡云、下音武粉反、久知佐岐良、按是亦脫文、文選文賦注、引蒼頡篇曰、吻唇兩邊也、慧

苑慧琳音義引略同、釋名、唇緣也、口之緣也、吻免也、入之則碎、出則免也、又取技也、漱唾所出、恒加技

拭、因以為名也、又按唇屬牀母、旬屬邪母、雖其音不同、並在十八諄、辰在十七真、屬禪母、音韻皆異、音

辰非是、又武粉與廣韻合、屬微母、粉屬非母、其音不同、作武粉反為是、久知比留、見夫木集仲實歌、谷

川氏曰、口緣之義、久知左幾良、見源氏物語、谷川氏曰、當之口裂之義、醫心方口吻訓、久知和岐、按久

知和幾、又見榮花物語、様々悅卷、今昔物語、第廿七廿八卷、

〔倭名類聚抄病三〕齟唇 說文云、齟、牛善反、文選云、齟唇、師說阿比、比一本作以、久知、口張齒見也、

〔箋注倭名類聚抄病二〕齟唇見好色賦、曲直瀨本作阿比、久知那波本同、山田本、昌平本與舊同、按阿以

久知、蓋開口之義、作阿比、恐非所引齒部文、

〔伊呂波字類抄安體〕齟唇、開口見齒、〔同人體〕唇クテヒル

〔下學集上支體〕唇與唇同字

〔書言字考節用集五肢體〕唇韻會、俗作唇、誤也、唇驚也、

〔倭訓栞前編八〕くちびる 唇をいふ、口縁の義なり、釋にも口の縁也といへり、下唇は地閣なり、平

治物語に、口びるをかへしてにくまぬものぞなかりけると見ゆ、西土にも反唇と書り、俗に唇薄